

## 2023 年度 事業報告書

### 1 事業実施の概略

りたは、市民及び市民団体、企業が行う社会貢献活動を促進し、市民・企業・行政が相互に参加や協力するまち育てを支援することで、岡崎市の協働型社会づくりを促進することを目的として掲げている。

そして、その目的を実現するため、りたは、市民自治の観点から地域自治と多様な市民活動を支援し、地域社会での連携・協働の推進に積極的な役割を果たすことや、社会の幸福をめざし市民・企業・行政が連携・協働のもとにそれぞれの役割と責任を担う「新しい公共」の理念を社会に浸透させ、「持続可能な社会」につながるまち育てを進めていくことを使命としている。

2023 年度にりたが取り組んだ主な事業は、以下のとおりである。

- ・市民協働まちづくりを推進するための拠点施設を運営する地域交流センター（5館）指定管理事業と  
りぶら市民活動センター運営事業
- ・地域の担い手不足などの喫緊の課題を地域で解決していくことを支援する地域包括ケアシステム支  
援業務、下山地域運営組織設立支援事業、カーボンニュートラル人材育成事業
- ・岡崎市が公民連携による公共空間の利活用を進める公園愛護運営会等設立支援業務、QURUWA シンポ  
ジウム運営業務
- ・これまで培ってきた市民協働のノウハウを活かし、県内各地域でのまちづくり推進や地域課題の解  
決を支援するまち育ての専門家派遣事業

以下、本年度に掲げた注力すべき 3 つの主要テーマに沿って、主な成果を記す。

### テーマ1 地域活力を高める

市民活動および地域活動の拠点施設（地域交流センター）の管理運営を通じて、市民自治・地域自治の礎となる地域の担い手を掘り起こし、市民活動団体による公益活動の場づくり、中学生・高校生・大学生の社会参加の場づくり、市民活動や地域活動へのボランティアマッチング（まちびとバンク）を推進した。

日常的な窓口業務や情報の受発信、事業実施により蓄積されたネットワークを活かし、地域の課題解決や地域資源を活用する担い手を掘り起こし、市民協働型社会の実現に向けた活動を行った。

【該当事業】地域交流センター指定管理、まちびとバンクほか

### テーマ2 地域資源を活かす

公園、鉄道駅などの公共空間、そしてそうした場所を積極的に活用する市民、団体、事業者を地域の資源としてとらえ、公共空間のより豊かな使われ方を見出し、その場所ならではの価値として意味付け、それらを具現化し、持続させるための活動と結びつけ、地域の魅力向上に貢献した。

【該当事業】QURUWA シンポジウム運営業務、公園愛護運営会設立等支援業務ほか

### テーマ3 地域課題を解決する

少子高齢化、空き家の増加、防災、子育て支援など、山積する地域課題に対して、地域包括支援センター、岡崎市社会福祉協議会、学区福祉委員会など既存の担い手との連携や、社会貢献意欲のある個人や団体、ボランティアなどの担い手の発掘およびマッチングを通じて、地域の課題解決を支援した。

【該当事業】地域包括ケアシステム支援事業、下山地域運営組織設立支援事業、カーボンニュートラル人材育成事業、市民活動支援ほか

各事業の詳細は以下に記す。

## 2 事業の実施に関する事項

(2023年度 実施事業一覧)

定款項目	事業名
ア まち育てに関する相談や助言事業	ア－1 りぶら市民活動センター運営事業
イ まち育てに関する学習機会の提供事業	イ－1 まち育てインター受入事業
ウ まち育てに関する情報収集と発信事業	ウ－1 法人広報強化事業
エ まち育ての専門家の育成と派遣事業	エ－1 まち育てコーディネーター養成事業 エ－2 まち育ての専門家派遣事業
オ まち育てに関する調査研究、政策提言事業	オ－1 公園愛護運営会設立支援等業務 オ－2 地域包括ケアシステム支援業務
カ 市民と企業と行政をつなぐまち育て支援事業	カ－1 QURUWA シンポジウム運営業務 カ－2 カーボンニュートラル人材育成事業 カ－3 下山地域運営組織設立支援事業 カ－4 「名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備事業」パークマネジメント活動業務 カ－5 「三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務」に関するコンサルティング カ－6 愛地球博記念公園マネジメント会議運営補助業務
キ まち育てを支援する拠点施設の管理運営事業	キ－1,2,3,4,5 岡崎市地域交流センター（北部・南部・西部・東部・六ツ美分館）指定管理事業

### ア まち育てに関する相談や助言事業

#### ア－1 りぶら市民活動センター運営事業

##### (ア) 事業内容

りぶら市民活動センターは、「協働する意欲のある市民の参画意識の醸成と市民活動全般の活性化を支援する」ことを目的とした岡崎市受託事業である。業務内容としては、①市民活動支援（情報収集及び提供、窓口相談、講座等の実施等）、②情報ひろば（市民活動団体の情報を掲載したWEBページ）の運用管理、③地域交流センターとネットワーク形成（会議運営等）等を行っている。

(イ) 実施時期 2023年4月～2024年3月 開館日の9:00～21:00

(ウ) 実施場所 岡崎市図書館交流プラザ・りぶら2階市民活動総合支援センター内

(エ) 従事者 鈴木（センター長）、岡田貴、高木、宮地、山崎、辻村、岡田永

(オ) 事業収入 9,642,294 円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ他 担当課：市民協働推進課）

(カ) 成果

一つ目は、活動コーナーの有益な使用方法の検討である。活動コーナーは、コロナ禍に入った令和2年より閉鎖をしていたが、コロナの第5類への移行に伴い、令和5年7月より使用を再開した（一部分は岡崎ビジネスサポートセンターが使用）。市民協働推進課と協議を重ねた結果、市民活動情報の提供のため、モニター3台を設置し、ボランティア情報/市民活動団体PR動画などを常時再生している。また、最新情報が提供できるよう内容の更新をしている。（注）モニターの購入及び設置は市民協働推進課。

二つ目は、情報発信事業として実施した①情報誌「まちのワ！」発行（地域交流センターと共同発行）、②事業者連携（東海愛知新聞社）、③学校連携（岡崎商業高校）である。市内全戸回覧の情報誌「まちのワ！」では、2ページにおいてボランティア体験の取材記事やまちびとバンク/まちびとステージ/ものものバンクについての詳細記事を掲載し、ボランティアに参加しやすい情報を提供するとともにボランティアに関する意識向上に努めた。また、事業者連携では、東海愛知新聞社の協力により4月～3月に発行した東海愛知新聞に市民活動団体の紹介記事を掲載し、各市民活動を活性化させるための一助とすることができた。学校連携では、市民活動団体の活動をPRするための動画作成を岡崎商業高校が担当し、市民活動センターはこの取り組みの広報と申込窓口を担当し、マッチングを行った。動画は岡崎市（市民協働推進課）と岡崎商業高校が開設したYoutubeチャンネルに掲載され、市民活動団体の活動を広く市民に届けるツールとして活用されている。また、市民活動センター・全地域交流センター窓口でも再生されており、センターの利用者・利用団体に向けて、取り上げられた団体の活発な活動をPRすることができた。

その他、事業の実施結果については、次の図表に示す。

業務名／事業名	内 容	時 期	参 加 者
市民活動情報の収集及び提供	・ポスター・チラシの受付、掲示・配架 ・市民活動団体向けメールマガジン発行 ・市民活動センターホームページの更新 ・活動コーナーにモニターを設置し、市民活動に有益な情報を提供	通 年	チラシ等の受付：706件 メールマガ：登録団体（285団体）に年6回送付
市民活動相談	市民活動に関する相談対応を行った。	通 年	相談件数：121件
市民活動情報ひろば入力支援	市民活動団体向けに、情報ひろばの利用促進を狙い、窓口にて入力支援を行った。	通 年	対応件数：95件※延べ件数
市民活動団体の登録、変更、廃止受付	市民活動団体を作りたい市民へのアドバイス、登録申請の受付、既団体の登録変更、廃止の受付を行った。	通 年	新規：10件 変更：79件 廃止：27件 ユーザー追加：10件 ユーザー削除：1件
まちびとバンク事業(ボランティアマッチング)	ボランティアをしたい市民とボランティアを必要としている団体のマッチングを行いボランティア活動の促進に努めた。	通 年	新規登録：3名 依頼： 66件（地交分） 28件（市活分） マッチング： 4994件（地交分） 501件（市活分）

まちびとステージ	自分の経験・特技を活かせる場所を積極的に探している個人に対して、活躍場所のマッチングを行った。	通年	依頼：7件 マッチング：4件
ものものバンク事業	不用品を提供いただき、必要としている団体にマッチングすることで団体が抱える「モノ」不足を解消することに務めた。	通年	<譲ります> 受入：10品、成立：5件 <レンタル用物品> 受入：0品、成立：13件 <探しています> 受入：1件、成立：2件
情報発信事業「情報誌（まちのワ！）発行」、「事業者連携（東海愛知新聞社）」、「学校連携（岡崎商業高校）」	地域交流センターと合同発行の「まちのワ！」において、取材や情報収集を行い市民活動の活性化のため記事を掲載した。また、事業者（東海愛知新聞社）と連携し、市民活動団体の紹介記事を東海愛知新聞に掲載し、情報発信を行った。学校（岡崎商業高校）と連携し、市民活動団体PR動画作成の受付窓口となった。	通年	<情報誌記事掲載> P1（11月号） P2・P4（7・9・11・1・3月号） <東海愛知新聞掲載> 9回（4-3月/毎月1回） 掲載団体：108団体 <市民活動団体PR動画作成>2団体

## イ まち育てに関する学習機会の提供事業

### イー1 まち育てインターン受入事業

（受入れなし）

※例年職員を受け入れていた「愛知県採用2年目職員研修」については、インターン生受入れ型ではなく、研修講師としての派遣となったため、「エー2 まち育ての専門家派遣事業」として取り扱い、記載している。

## ウ まち育てに関する情報収集と発信事業

### ウー1 法人広報強化事業

#### （ア）事業内容

Web でりたの事業内容を分かりやすく情報発信するため、法人ホームページを改修に着手した。ホームページ内のアーカイブを整理する等、より多くの閲覧者に分かりやすく情報を提供できる形に変更する予定である。

（イ）実施時期 2023年7月1日～2024年3月31日

（ウ）従事者 3名（天野、岩川、加納）

（エ）事業収入 0円（事業支出は一般管理費より充当）

（オ）成果

TOPページのデザインを、HPユーザーがスムーズに情報を見つけやすくなるよう配慮した、使いやすさを重視したデザインを検討した。こうしたデザインにすることで、より多くのユーザーがアクセスしやすくなるよう考えている。

## **エ まち育ての専門家の育成と派遣事業**

### **エー1 まち育てコーディネーター養成事業**

#### **(ア) 事業内容**

今年度新たに入社したスタッフに対し、岡崎市内のNPO/市民活動の潮流とりたの位置づけや業務の概要等について解説し、中間支援組織の一員として業務に従事できるよう教育を実施した。一方、管理職向けには、定例会議の場を利用してミニ勉強会を開始し、りたの事業展開・岡崎市内のまちの課題を共有し、意見交換を行った。

また、中堅職員向けの一般的な業務遂行に関する研修を補うため、岡崎市中小企業・勤労者支援センターが期間限定で実施した「e ラーニング」講座を活用した。

#### **(イ) 実施時期**

- ・新人研修 2023年12月12日・19日、1月23日（全3回）
- ・管理職向け 2023年4月7日、5月12日、8月18日、9月8日、11月10日、12月8日、  
2024年1月12日、2月9日（全8回）
- ・e ラーニング 2023年9月1日～2024年1月31日（5カ月間）

#### **(ウ) 実施場所 岡崎市地域交流センター（北部、東部、六ツ美）他**

#### **(エ) 従事者**

- ・新人研修：（講 師）天野、三矢、深田、平岩、石田、藤岡  
(受講者) 板谷(南)、亀山(東)、久永(六)、宮地、岡田永(市活) 柏崎(事務局)
- ・管理職向け：（講 師）大久保、天野、深田、小早川、阪口  
(受講者) 築瀬、大久保、天野、深田、平岩、藤岡、加藤、石田、小早川、阪口、  
鈴木紀、鈴木千、岩川
- ・e ラーニング：（受講者）15名の職員が103種類の講座を受講（のべ動画再生回数190回）

#### **(オ) 協働先：岡崎市中小企業・勤労者支援センター（e ラーニング）**

#### **(カ) 事業収入 0円（事業支出は一般管理費より充当）**

#### **(キ) 成果**

- ・新 人：りたの職員に求められる基本的な考え方や基礎的な知識を習得。多岐に渡るりたのまちづくりにおける中間支援の概要に触ることで、職員としての自覚を促した。
- ・管理職：事業のプロジェクト担当者（リーダー）等から、事業のポイントや課題分析を直接聞き、意見交換することで、まち育てコーディネーターとして地域に関わる意義を改めて認識し、その方法論を学んだ。
- ・e ラーニング 中堅職員を中心に、一般的な企業の職員向けではあるが「リスク管理・コンプライアンス」「リーダーシップ」「交渉・調整力」等の10カテゴリーを示して受講を勧奨。りたの内部研修だけでは取得できない、今後の事業遂行・チーム運営に資する知見を得ることができた。

なお、上記以外にも、センター長以上のスタッフを主な対象として、外部研修を積極的に活用した。事業企画・施設運営に役立てるとともに、まち育てコーディネーターとしての知見・ネットワークを広め、地域交流センター・市民活動センターの施設役割強化につなげることができた。

例として、「再現性特化 DX セミナー」（岡崎市中小企業・勤労者支援センター）  
「SDGs フォーラム」（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社）

「チャット GPT セミナー」（岡崎市中小企業・労働者支援センター）

「休眠預金活用助成金セミナー」（愛知県・社会活動推進課）

## エー2 まち育ての専門家派遣事業

### （ア）事業内容

岡崎市近郊での講義・ワークショップ実施や岡崎市内の先進事例の紹介、各種委員会や審議会への助言ならびに政策提言を担った。

（イ）実施時期 2023年4月1日～2024年3月31日

（ウ）会場 岡崎市、名古屋市、小牧市

（エ）従事者 築瀬、大久保、天野、三矢、深田、平岩、藤岡、石田、小早川他

（オ）事業収入 1,843,006円（各機関・団体等より受託）

### （カ）成果

市内で実践した各事業の成果が県内の各地域や国などからの評価につながり、その評価を踏まえ、市内その他地区へのノウハウ移転や他の地域課題に対する複合的な解決策の提示を推進することができた。

今年度については、複数メンバーで実施する単発ワークショップ（意見交換含む）の運営を2事業受託し、それぞれの主催者・参加者のニーズに合わせた課題解決につなげるための場づくりが行えている。

### [専門家派遣リスト]

#### （天野担当分 3事業）

- ・愛知県議会県民環境委員会県内調査「地域主体の空き家活用と高齢者支援の取組について」（9/4）
- ・愛知県「2023年度採用2年目職員研修（NPO・福祉）」（11/13）
- ・一宮まちなか未来会議「QURUWA 視察」（11/28）

#### （築瀬担当分 1事業）

- ・岡崎市中山間地域活性化計画・地区別計画（宮崎学区）策定支援（10月～3月）

#### （複数メンバーで担当 3事業）

- ・岡崎観光WG ワークショップ運営（8/22）  
従事者：天野、岩川、石田、阪口
- ・岡崎市「岡崎市市民協働実務担当職員研修業務」（11/7）  
従事者：天野、深田、石田、小早川、阪口、岩川
- ・岡崎市総代会連絡協議会 総代会長会研修（1/12）  
従事者：深田、平岩、藤岡、加藤、石田、小早川、阪口、鈴木紀、岩川、大久保

#### ●委員会等での助言

#### （築瀬担当分 1事業）

- ・乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン会議（7/31, 10/10, 11/15, 2/15）

(大久保担当分 1事業)

- ・岡崎市市民協働推進委員会 (5/27)  
※同委員として岡崎市市民公益活動事業費補助金 審査会 (5/27)

(天野担当分 5事業)

- ・岡崎市景観審議会 (5/29, 11/24)
- ・乙川リバーフロント地区まちづくりデザイン会議 (7/31, 10/10, 11/15, 2/15)
- ・乙川リバーフロント地区かわまちづくり協議会 (9/11, 3/11)
- ・岡崎市景観整備機構連絡協議会 (11/29)
- ・株式会社公園マネジメント研究所 中間支援組織の活動に関するヒアリング取材 (1/25)

(深田担当分 3事業)

- ・岡崎市歴史まちづくり協議会 (3/23)
- ・岡崎市文化財保存活用地域計画協議会 (3/7)
- ・岡崎市市民協働推進委員会 (2/26)

(平岩担当分 1事業)

- ・岡崎市部活動地域移行検討会 (2/28)

(藤岡担当分 1事業)

- ・愛知県NPOと行政の協働に関する実務者会議 (7/26、10/18、2/21)

(石田担当分 1事業)

- ・岡崎市観光基本計画推進委員会 (6/30、2/13)

(小早川担当分 2事業)

- ・岡崎市地域福祉計画事業検討部会 (9/20、1/31)
- ・岡崎市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会 (11/22)

(複数メンバーで担当 1事業)

- ・愛知県 災害中間支援組織設立に向けた協力団体調査 (11月)

## オ まち育てに関する調査研究、政策提言事業

### オ-1 公園愛護運営会設立支援業務

#### (ア) 事業内容

地域住民による主体的な公園の管理・活用を推進する「公園愛護運営会」の設立及び運営の支援、既存の公園愛護運営会の運営上の課題やノウハウについて意見交換・交流を図る「情報交換会」企画・運営を行った。また、公園愛護運営会の設立フローや既存団体の設立経緯等をまとめた設立・運営の支援の手引書「公園愛護運営会普及マニュアル」を作成した。

- (イ) 実施時期 2023年4月～2024年3月  
(ウ) 実施場所 岡崎市内  
(エ) 従事者 天野、岩川、斎藤  
(オ) 事業収入 3,245,000円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ 担当課：公園緑地課）  
(カ) 成果

・7月に実施した情報交換会では、全10団体中9つの団体の関係者が集まり、それぞれ抱えている運営上の課題や疑問を他の団体から学ぶ形で意見交換し、大いに盛り上がった。参加者からは次回も開催してほしいという多くの声が寄せられ、満足度の高い交流会となった。

・「普及マニュアル」には、設立された公園愛護運営会の事例だけでなく、設立に至らなかつた事例も掲載し、どのような支援が有効か、様々なパターンで示すことができた。

・マニュアルの主な読み手は岡崎市の担当職員を想定しているが、将来的には地域交流センター・市民活動センターにおける市民活動相談等でも参考となることを視野にいれて作成したため、汎用性の高いマニュアルとなった。

## オー2 地域包括ケアシステム支援業務

- (ア) 事業内容

多様な担い手による高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化、及び社会参加の推進を一体的に図り、地域包括ケアシステムの構築さらには地域共生社会の実現に向けて、市内20の地域包括支援センターの支援（新任期職員研修、地域支援者研修、広報支援等）を行った。

- (イ) 実施時期 2023年4月1日～2024年3月31日  
(ウ) 実施場所 岡崎市内各地  
(エ) 従事者 天野、長谷川、小嶋、三矢  
(オ) 事業収入 4,130,000円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ 担当課：ふくし相談課）  
(カ) 成果
- 生活支援コーディネーターに必要な地域診断やステークホルダーとの関係構築、広報の企画・編集等の研修・相談を通じて、包括支援センターの人材育成やチームビルディング、学習・交流機会の創出に寄与した。

## カ 市民と企業と行政をつなぐまち育て支援事業

### カ－1 QURUWA シンポジウム運営業務

- (ア) 事業内容

行政、地域住民・事業者、関連企業等が一体となって駅周辺まちづくりを推進するための機運醸成を図り、QURUWA戦略におけるエリアビジョン更新のヒントを得ることを目的としてシンポジウムを開催した。

- (イ) 実施時期 2023年5月～2024年3月  
(ウ) 実施場所 岡崎市明大寺本町ほか33箇町地内

- (エ) 従事者 天野、岩川  
(オ) 協働先 7町・広域連合会、RFA、アフタヌーンソサエティ、商い創造研究所  
(カ) 事業収入 1,980,000円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ 担当課：まちづくり推進課）  
(キ) 成果

シンポジウムには146名が参加し、一般市民、事業者、行政関係者等幅広い層に東岡崎駅エリアの将来像や「駅まちデザイン」の理念、つまり駅とまちの「物理的なつながり」のみならず、「機能的なつながり」や「産業のつながり」を生み出す包括的な「駅とまちのつなぎかた」を重視する考え方を示すことができた。

最後に藤村氏より、パネルディスカッションのまとめとして、以下の3点が指摘された。

- (1) 駅を消費の場というよりも、共創の場として考えること
- (2) 岡崎のローカルや地域のつながりを生み出す仕組みを内包すること
- (3) 2029年までの時間を駅とまちをつなぐプロセスにすること

## カ－2 カーボンニュートラル人材育成事業

- (ア) 事業内容
- 2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた脱炭素気運を市域全体に広げるため、特に2030年、2050年という節目に、社会の中核を担う現在の小中学生から大学生までの世代において、単に環境問題として認識し、知識を身に着けるだけでなく、「脱炭素視点」も踏まえ、ふるさと岡崎市の発展に貢献してもらえるような人材を育成することを目的として、体験講座の企画・運営、今後展開していくための汎用性プログラム作成、地域交流センターを基点とした環境啓発活動を実施した。

- (イ) 実施時期 2023年9月～2024年3月  
(ウ) 実施場所 りぶら、各地域交流センター  
(エ) 従事者 天野、岩川、小早川、阪口  
(オ) 協働先 グリーンフロント研究所（株）  
(カ) 事業収入 3,993,000円（岡崎市からの事業受託費より繰り入れ

担当課：ゼロカーボンシティ推進課）

- (キ) 成果
- ・岡崎市「高校生まちづくりプロジェクト」の協力を得て、汎用性プログラムの体験講座のプロトタイプとして試験的に講座を実施したことで、より精度の高い汎用性プログラムが作成できた。
  - ・環境コンサルタント・グリーンフロント研究所（株）と協働することで、教材に必要な情報を適切に盛り込むことができ、担当職員の脱炭素に関わるリテラシーを高めることができた。
  - ・各交流センターで啓発パネルを巡回設置したことによって、より多くの市民にカーボンニュートラルに関する興味を喚起し、脱炭素に向けて暮らしに取り込む具体的な情報を提供することができた。

## カ－3 下山地域運営組織設立支援事業

- (ア) 事業内容
- 下山学区の持続可能な地域づくりに向けて、岡崎市下山学区地域づくり協議会及び4つの部会（農用地保全、生活支援、地域資源活用、施設活用）の運営支援、行動計画（案）の作成を行った。

- (イ) 実施時期 2023年4月～2024年3月(2022年4月より3ヵ年を予定)
- (ウ) 実施場所 下山学区
- (エ) 従事者 岩ヶ谷、天野、岩川
- (オ) 協働先 ONE RIVER、岡崎市下山学区地域づくり協議会、岡崎市社会福祉協議会、山田農園
- (カ) 事業収入 3,085,500円(岡崎市下山学区地域づくり協議会からの事業受託費より繰り入れ 担当課：中山間政策課)
- (キ) 成果
  - ・地域づくり協議会及び4部会の運営支援を通じて、体験農園「となりの田んぼ」の実施(ONE RIVERが企画・実施を支援)、YAMABIKO 青空市・YAMABIKO 食堂の実施、地域支え合い車両 YAMABIKO 号の運行、YAMABIKO 通信の発行など、具体的なアクションが生まれた。

#### **カー4 「名古屋市瑞穂公園陸上競技場整備事業」パークマネジメント活動業務**

- (ア) 事業内容

瑞穂運動公園の再整備を進めるPFI事業において、代表企業である竹中工務店は、公園のアクティビティを促進する仮設的な施設(仮称・PLOT)の基本設計にあたり、竹中工務店の設計部と名古屋工業大学・伊藤孝紀研究室を主な構成員(作り手)としてデザインチームを発足し、各種ワークショップを企画運営した。PLOTの利用促進が期待される主体(使い手)は昨年度までのヒアリングで特定できていたため、こうした方々を巻き込み、デザイン案の検討、プロトotyping(試作品の設置と使われ方調査)を行った。これにより、基本設計案および運営方針にブラッシュアップができた。
- (イ) 実施時期 2023年4月～2023年11月
- (ウ) 実施場所 瑞穂公園内の南児童園、名古屋工業大学、現場事務所ほか
- (エ) 従事者 三矢、名畠
- (オ) 事業収入 1,760,000円(株式会社竹中工務店からの事業受託費より繰り入れ)
- (カ) 成果
  - ・デザインワークショップの成果として、PLOTのデザイン案が3つ生み出され、最優秀作品に選ばれた案を中心に基本設計が進めることができた。
  - ・モバイル性の高さと管理運営の仕組みは同時に考える必要があり、そのことが結果的に、デザインワークショップの優秀作品を選ぶ際に、「作り手(設計)」「使い手(運営)」「守り手(管理)」の三者が一堂に会して議論することになった。こうした立場を超えたコミュニケーションがとれ、関係性が構築できたことも成果と言える。

#### **カー5 「三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務」に関するコンサルティング**

- (ア) 事業内容

尾張旭市は三郷駅前開発事業の推進に際し、愛知県立芸術大学とまちづくりに関する協定を締結した。愛知県立芸術大学はこれを受け、「愛知県立芸術大学受託事業三郷駅前周辺まちづくりデザイン意思決定支援業務(以下本事業)」により、地権者を含む三郷駅周辺市民らが駅前開発事業区域及びそれを核とした近隣のまちづくりの推進に貢献しようとしている。本事業はこれらを踏まえ、再開発基本計画への市民意見の反映と、駅周辺のエリアマネジメントの機運醸成や体制づくりを念頭に、各種のワークショップ、社会実験、フォーラムを開催した。
- (イ) 実施時期 2023年4月～2024年3月

- (ウ) 実施場所 尾張旭市役所ほか  
(エ) 従事者 三矢、長谷川、加納  
(オ) 事業収入 2,632,850 円 (愛知県公立大学法人からの事業受託費より繰り入れ)  
(カ) 成果

- ・三郷駅前再開発事業で生まれる公共空間（広場や公共施設）の活用促進や、駅周辺のまち育てを推進する市民まちづくりのプラットフォームとして「35フレンズ」が発足した。グリーン分科会など5分科会が組成され、テーマに基づく議論を重ね、駅前再開発に向けた市民提案をまとめた。これを、再開発組合に提案した。
- ・未来の三郷駅前に生まれる公共空間のイメージを可視化すべく、三郷駅近傍にある商業施設（イトーヨーカ堂）の空地を借用して、社会実験「未来の三郷駅前を体験しよう」を開催。焚き火体験をはじめ、未来の駅前で実現したいアクティビティを試行的に行った。
- ・社会実験を通じてイトーヨーカ堂との関係性が構築され、空き店舗空間に、学生や市民の自習室「まなびば35」を常設で設置することもできた。駅周辺まち育てが始動した。
- ・年度の成果取りまとめとなるフォーラムも開催した。ゲスト講師を招いた講演会では、左近山団地の例を中心に学び、市民が好きなこと、得意なことを通じて繋がり、公共空間を使いこなしていく手法を共有した。

## カー6 公園緑地整備交付金事業費の内公園マネジメント会議運営補助業務

- (ア) 事業内容

愛地球博記念公園マネジメント会議（NPO、企業、大学、行政など総勢70程度の会員が参加）の会議ファシリテーション支援を行なった。

- (イ) 実施時期 2023年5月～2024年3月  
(ウ) 実施場所 地球市民交流センターほか  
(エ) 従事者 三矢  
(オ) 事業収入 623,700 円 (日本工営都市空間株式会社からの事業受託費より繰り入れ)  
(カ) 成果

- ・2025年は、愛知万博から20周年となるメモリアルイヤーとなる。このため、万博20周年記念イベントの企画を始める必要があり、別途実行委員会を発足することが決定した。
- ・ここ数年課題となっていたコア会議や分科会の適正運用に関する考え方が整理され、ルールブックの改正をすることができた。関連して、分科会よりも気軽に単発で活動を起こす仕組み「チーム制度」が設置され、運用が始まった。
- ・園内にジブリパークの区域が整備され、ジブリパーク開園前と後とでは、公園の使い勝手が変わっている。園内で各種のイベントやプログラムを提供してきた会員にとって、駐車場の使い方やイベントの開催日時、場所にも制約が増えている。こうした課題について、ジブリパーク側とも連携や調整が必要、という認識が会員間で広がっていることが確認された。

## キ まち育てを支援する拠点施設の管理運営事業

### キ-1,2,3,4,5 岡崎市地域交流センター(北部・南部・西部・東部・六ツ美分館)指定管理事業

- (ア) 事業内容

「市民活動を活性化させることにより市民相互の交流を促進し、活力に満ちた地域社会の実現に寄与する施設」である岡崎市地域交流センターを、指定管理者として管理運営を行った。市民活動の支援、市民サービスの拡充を目的として、貸館業務、市民活動の啓発や発展につながる研修や交流会、イベント、情報誌「まちのワ！」の発行やSNSなどを通じて、市民活動や地域活動の情報の受発信を行った。

- (イ) 実施場所 岡崎市北部地域交流センター・なごみん  
岡崎市南部地域交流センター・よりなん  
岡崎市西部地域交流センター・やはぎかん  
岡崎市東部地域交流センター・むらさきかん  
岡崎市地域交流センター六ツ美分館・悠紀の里
- (ウ) 開館日時 火曜日～日曜日（月曜定休が基本） 9:00～21:00
- (エ) 従事者
- |           |   |
|-----------|---|
| 統括管理責任者   | 深田  |
| 事業運営責任者   | 平岩  |
| 施設保守管理責任者 | 高柳  |
| 【なごみん】    | 加藤（センター長）、伊藤（副センター長）、<br>神谷、田中、市川、吉開、岩城、田邊        |
| 【よりなん】    | 石田（センター長）、平井（副センター長）、<br>永井、石本、鈴木麻、青山、星野、石野       |
| 【やはぎかん】   | 小早川（センター長）、安藤（副センター長）、<br>水澤、鈴木田、柳田、大滝、中西、野倉、山中   |
| 【むらさきかん】  | 阪口（センター長）、遠竹（副センター長）、<br>浦野、手嶋、岡師、亀山、鈴木孝、鈴木雅、小野田  |
| 【悠紀の里】    | 鈴木紀（センター長）、磯貝（副センター長）、<br>吉岡、杉浦千、久永、川田、山本澄、堀井、山本勝 |
| 施設保守・修繕   | 岡田貴、鈴木二、清家  |
| 高度相談対応職員  | 天野裕、三矢、岡田貴、藤岡                                     |
| 拠点担当総務    | 藤岡、永谷、岩川、柏崎、近藤                                    |
- (オ) 事業収入 168,802,877円  
(岡崎市からの事業受託費他より繰り入れ他 担当課：市民協働推進課)

(カ) 事業の実施概要・成果

①市民活動に関する相談等

相談機能のPRや窓口スタッフ（市民協働コーディネーター）のスキルアップなどにより相談者が増え、目標件数を達成できた。今後も、市民活動相談を受け付けていることを館内掲示するとともに、情報誌や地域交流センターホームページに掲載していく。また、窓口スタッフも市民活動団体に限らず何らかの活動をしている利用者に対し、事業や補助金の案内をしたり、困りご

とのヒアリングをしたりなど、積極的にコミュニケーションを図っていく。

市民活動相談	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	年目標
なごみん	2	2	1	4	1	3	3	1	4	3	3	4	31	28
よりなん	3	3	4	5	4	2	0	3	0	3	3	1	31	28
やはぎかん	3	4	7	5	3	3	5	1	6	1	3	4	45	28
むらさきかん	1	1	4	4	3	4	1	1	1	3	4	3	30	28
悠紀の里	9	1	5	3	3	3	3	4	1	5	3	2	42	28
合計	18	11	21	21	14	15	12	10	12	15	16	14	179	140

達成率： 128%

## ②アウトリーチ

年間を通して、市民活動団体にとどまらず地縁組織や企業、学校、支援センターなど多様な相手にアウトリーチを行い、情報収集ならびに交流センターの活用促進PRを行った。これにより、情報収集・センターPRができた：87件、センター事業への参画につながった：55件、他団体とのマッチングにつながった：6件という成果が得られた。アウトリーチを地域や事業者との新たなつながりをつくるきっかけとし、社会貢献活動に関心のある事業者はリスト化して情報の蓄積に努め、ボランティアマッチングなどに活かしていく。

アウトリーチ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	年目標
なごみん	3	3	3	2	1	4	1	3	2	2	0	5	29	22
よりなん	0	10	4	0	0	3	4	0	1	1	2	2	27	22
やはぎかん	4	12	3	3	1	1	2	6	4	3	2	0	41	22
むらさきかん	6	5	3	1	0	0	4	4	5	0	2	5	35	22
悠紀の里	1	5	3	2	1	0	0	2	1	0	3	0	18	22
合計	14	35	16	8	3	8	11	15	13	6	9	12	150	110

達成率： 136%

## ③市民活動に関する研修及び交流事業の企画立案

### (1)市民活動の支援や推進に係る研修

事業名	実施場所	実施日	実績・内容
市民活動サポート研修 「おかざき市民活動情報ひろば活用研修」	なごみん	6/9～25	参加者数：14団体 23人 市民活動団体の情報発信の活発化を目的に、「おかざき市民活動情報ひろば」の活用方法を学び実践する研修を開催。ログインから困っている団体や動画投稿に挑戦したい団体など、マンツーマンで習熟度に合わせて講習したことで、受講者自身で更新できる状態にスキルを高められた。
市民活動サポート研修 「はじめましてボランティア①ボランティア理解編」	よりなん	6/17	参加者数：12人（4団体+個人）、ボランティア：6人 ボランティアを正しく理解し、安全に楽しく活動できるようになるための知識を学ぶ研修を開催。ボランティア経験者による体験談の共有などを通じて今後のボランティア活動への意欲増進につながった。

市民活動サポート研修 「はじめましてボランティア②ボランティア受け入れ団体編」	よりなん	7/15	参加者数：7団体8人（うち発表3団体3人）、ボランティア：2人 ボランティアの受け入れに必要な心得を学び適切なボランティアマネジメントを習得するための研修を開催。ボランティア募集依頼書を書くワークでは、マッチングにつながりやすい書き方のコツを学んだ。受け入れや募集のコツを学んだことで、今後のボランティアの受け入れイメージを具体的なものにできた。
市民活動サポート研修 「資金調達力強化研修①」	やはぎかん	7/12	[基礎編] 参加者数：3団体6人／講師：4人 資金調達能力向上を目的に、実際の助成金や補助金を題材にした考え方や申請書の書き方を学ぶ研修会を開催。赤い羽根共同募金ハッピーリンクを取り上げ、助成元と助成経験者の話をそれぞれ具体的に聞き、理解を深めた。また、研修前に「資金に関する意識調査」を行い52団体から回答を得た。これにより団体の資金に関する意識や傾向を把握できた。
市民活動サポート研修 「資金調達力強化研修②プレゼンのコツ」	やはぎかん	2/10	参加者数：13団体15人／講師：1人 資金調達力向上を目的に、実際の助成金や補助金を題材にした考え方や申請書の書き方を学ぶ研修会を開催。第2回目はプレゼンのコツをテーマに、伝えたいことの整理方法や伝え方のコツなどを実践形式で学び、プレゼン力の向上につなげられた。
市民活動サポート研修 「IT利活用研修①基礎編」	むらさきかん	1/14	参加者数：12団体17人／講師：2団体2人 IT活用で事務負担を軽減し活動そのものを充実させることを目的に、IT利活用に関する研修会を開催。基礎編では、LINEやGoogleフォームを活用した団体の経験談から活用のコツを学び、IT活用を自分事に捉え、効率的なIT活用への意欲を高められた。
市民活動サポート研修 「IT利活用研修②応用編」	むらさきかん	2/18	参加者数：11団体16人／講師：2団体4人 IT活用で事務負担を軽減し活動そのものを充実させることを目的に、IT利活用に関する研修会を開催。 応用編ではソフトバンクと協働してLINEやオープンチャットの活用・設定に関する演習を行ったことにより、効率的なIT活用へ意欲を高められた。
市民活動サポート研修 「人を巻き込む仕組みづくり研修①共感を生む広報編」	悠紀の里	12/9	参加者数：11団体13人／講師：1人 人を巻き込みより活動を活性化することを目的に、情報発信やコミュニケーションについて学ぶ研修を開催した。第1回目は効率的なPR発信・運用をテーマに、効率的かつ負担の少ない運用方法で共感を生む方法を学び、参加者の広報力の強化につながった。
市民活動サポート研修 「人を巻き込む仕	悠紀の里	1/21	参加者数：9団体10人／講師：1人 人を巻き込みより活動を活性化することを目的に、情報発信やコミュニケーションについて学ぶ

組みづくり研修② 「コミュニケーション編」			研修を開催した。第2回目はコミュニケーションをテーマに、団体内外での信頼関係の築き方を学び、関係づくり強化につながった。
--------------------------	--	--	--

(2)市民活動団体の連携の推進及び強化につながる交流事業

事業名	実施場所	開催日	実績・内容
地域協働交流会～くらしをまもる、逃げ遅れゼロ～[風水害編]～	なごみん	2/10	参加者数：15団体34人（うち発表2団体3人）／講師：1人 防災をテーマに多様な組織が連携をとるきっかけとなる交流会を開催した。防災課による講演、岩津地区婦人自主防災クラブ、認定NPO法人葵風の活動発表を通して地域の防災活動を学んだ上で、参加者が抱える災害への不安を出し合い、連携のきっかけを探った。また、テーマ設定は、複数の地縁型市民活動団体にヒアリングを行い共通の悩みである防災に設定した。
地域とつながる協働交流会	よりなん	11/29	参加者数：24団体32人／ボランティア4人 地域と市民活動団体・事業者等の協働を創出することを目的とした交流会を開催。地域組織と市民活動団体に加え、事業者、支援センター等多様な主体が集まり、互いの活動を発信したことで、30件以上の協働のきっかけを作ることができた。
地域の子育て交流会	やはぎかん	12/16	参加者数：33団体42人（うち発表2団体2人、出展7団体7人）／ボランティア4人 子育てに関連する地域の組織・団体を中心に、市民活動団体との連携を生むための情報交換や市民へのPRを目的とした交流会を開催。地域での子育ての実態や課題を明確にするワークを通して、今後の活動に必要なことや協働の必要性を考える機会となった。
活躍人！交流会～SDGs事例発表会～	むらさきかん	8/26	参加者数：19団体22人（うち発表3団体3人）／ボランティア4人 SDGsに取り組むまたは今後取り組みたい団体が集まり意見交換をする交流会を開催。発表では、協働によりSDGsに関する活動が円滑に行えている事例を紹介し、その後のワークで、自団体の課題や他団体に提供できることを考え意見交換することで、相互理解と横のつながりをつくるための機会となった。
ゆきファミリーパーク～親子で楽しく体験・交流～	悠紀の里	10/15	参加者数575人／出展数17団体65人／ボランティア42人 子育て支援の団体と協働して、子育て世代向けのイベントを開催。企画・運営を通じて子育て支援に係わる市民活動団体や事業者の相互理解の向上とネットワーク強化につながったと同時に、当日の体験等を通して参加者に対して子育てに関する有益な情報を発信できた。

④地域と連携した市民活動の活性化に寄与する事業

事業名	実施場所	実施日	実績・内容
聾学校×地域 協働創出事業 「なごみんつながるプロジェクト」	なごみん	7/21、8/4	参加者数：4団体 66人 岡崎聾学校と地域との連携を生み、地域活動の活性化を目的とした手話交流会を開催。今回は岩津太極拳クラブと協働し、太極拳を参加者全員で体験し交流を深めた。
なごみん横丁	なごみん	8/8、9、10	参加者数：623人、ボランティア：135人（うち協働企業・団体数：4高校、2大学、6社、2団体） 市民活動団体や企業等と協働して、こどもたちが自ら考え行動するまちづくりイベントを開催。ボランティア募集には高校4校と大学2校が協力。企業・団体連携では、新規2社を含む8社・団体が参加し子どもたちに“仕事”を提供したり物品を提供したりするなど、多様な主体と協働し、こどもと地域の接点を創出できた。
町内会サミット～まちのミライを語ろう会～	よりなん	1/27	参加者数：21団体 27人（うち発表3団体3人）／ボランティア10人 町内会活動の負担軽減・活性化を目的に、事例や工夫点を共有する交流会を開催。発表で上地学区総代会の組織運営、矢作4区の防災活動、市防災課の取り組みを学び、グループワークで多様な参加者の取り組みや考えを共有したことで、個々で抱え込まず役割を分担することが大切という意識を啓発できた。
花のとう支援事業	やはぎかん	5/14	参加者（来場者）数：175人、出展：2団体 37人、ボランティア：7人 ※やはぎかん担当ブースの数値 矢作地域の伝統行事「花のとう」復活を目指す新たな花のとう実行委員会と協働し、花のとう開催に向けた検討や広報活動をともに行い開催に至った。催事日前後には、花のとうの由来や伝統、地域とのつながりを市民に啓発する展示ブースを館内に設け、多世代に発信し、同行事を啓発した。
防災交流会～実践を視野に入れた検討&交流会～	やはぎかん	7/29	参加者数：10団体 66人、出展：6団体 12人、ボランティア：6人、講師：1人 災害発生後に自分たちにできることを考え共有する交流会を開催。また、様々な視点で防災活動を行う団体による展示会を同時に開催した。災害時に、誰かに何かをしてもらうことを期待するではなく、自分たちに何ができるかを考えたことで、防災を自分事に捉え、また、団体との協働イメージを高められた。

防災交流会延長企画「防災×ボドゲ」イベント ※ボドゲ：ボードゲーム	やはぎかん	10/28	参加者数：24人／ボランティア8人 7/29に開催した防災交流会の参加者有志（岡崎ボードゲーム会）と協働し「防災×ボドゲ」イベントを企画。小学生や親子が集まり楽しみながら防災を学ぶ機会となり、交流会では集まらなかつた層に対しての防災啓発ができた。また、市民活動団体と協働して開催したことで協働の場づくり、協働促進にもつながった。
むらさき麦まつり連携事業「市民活動博覧会」	むらさきかん	5/13	参加者（来場者）数：1,029人、出展：17団体47人、ボランティア：50人 市民活動団体の出展ブースや取り組みの紹介展示による活動啓発に加え、東部のまちづくり協議会（5団体）による地域おこしの取り組みを発信するイベントを開催した。藤川まちづくり協議会主催の「むらさき麦まつり」と同時開催し連携をとったことで双方向の人の回遊が生じ、多様な層に市民活動や地域活動を啓発できた。
むつみ地域交流会	悠紀の里	9/10	参加者数：21団体28人（うち発表2団体2人）／ボランティア8人 昨年度の開催で「六ツ美4学区のつながりが希薄」という課題意識が表面化したため、地域包括支援センターと協働して、各学区の地域情報を出し合う交流会を開催。多くの情報により、まずはそれぞれの学区のことを知り関心を持つ機会となつた。今後、来年度以降のつながりづくりにつなげていく。交流会の様子は情報誌を発行して六ツ美4学区45町に回覧。

## ⑤周年記念事業

今年度は該当事業なし。

## ⑥情報誌の発行及び配布

市民活動の促進につながる有益な情報や市民活動団体の活動PR等の情報をまとめた情報誌「まちのワ！」を2か月に1回、奇数月に発行。市内全町への回覧に加え、市内の各支所や市民センター、小中学校、その他市内外のNPOや市民活動支援センターへ配布、さらに交流センターホームページ上での公開など幅広く情報を発信した。

1回あたり約15,000部発行。年6回発行により、年間で約90,000部発行。

- ・5月号 特集：故きを温ねて新しきを知る 岩津城跡を町のシンボルに
- ・7月号 特集：笑顔と“きれい”の輪が拡がるクリーンサンデー
- ・9月号 特集：食物アレルギーから子どもの笑顔を守りたい
- ・11月号 特集：来て！観て！聴いて！歴史と文化のまち岡崎
- ・1月号 特集：SNSを駆使して 子ども食堂運営中
- ・3月号 特集：不登校や引きこもり ひとりで悩まずSOS！

## ⑦施設ボランティア・環境演出事業

各センターで、花壇の整備や館内装飾などセンターの特色に合わせて創意工夫しながら、市民がボランティアとして施設運営に参画し活躍できる場として「ふれあいひろば」を実施した。市

民参加型の館内装飾プログラムでプレイルームに来る親子や交流スペースに滞在している学生などにボランティアとして関わってもらったことで、マッチング数の増加につながった。特によりなんと悠紀の里が力を入れて取り組んだ結果、全センターでの年間目標 2,750 人に対して 4,994 人と目標値を大きく越えることができた。また、活動団体と来館者の交流の場ならびに自己表現の場である交流スペースでのサロンも再開し、積極的に活用されている。

各センターで、花壇整備や装飾、サロンなどでの市民参加の運営形式が定着してきたことに加え、外部からの依頼で子ども食堂や地域の環境美化活動等へのボランティアマッチング件数も増えてきており、今後も、安定的にボランティアマッチングをしていけると考えている。

#### ⑧公益活動統合サイト「おかざき公益ナビ」

「公益活動統合サイト」は、市民や市民活動団体、事業者、教育機関などによる地域課題の解決に取り組む公益活動や協働事例の好事例をモデルケースとして紹介していくサイトである。従来の市民活動団体の枠組みにとどまらず活動主体を限定することなく掲載することで、市民にとって地域課題解決に必要となる協働意識を一層高める狙いがある。同サイトは、令和6年3月に「おかざき公益ナビ」と称し公開を開始。公開時には11事業を紹介しており、今後、紹介事業数を増やしていく計画である。

### 3 法人運営に関する事項

#### (1) 総会

##### ア 第17回通常総会

- (ア) 開催日時及び場所 2023年6月29日(木) 10:30~11:30  
岡崎市図書館交流プラザりぶら 301会議室
- (イ) 議題<報告事項> ①岡崎市南公園整備事業への参画について  
<審議事項> ①2022年度 事業報告書(案)及び決算書(案)について  
②2023年度 役員体制(案)について  
③2023年度 事業計画(案)及び事業予算(案)について  
④役員報酬の支払額(案)について

#### (2) 理事会

##### ア 第1回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2023年6月6日(火) 10:30~11:30  
岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 101会議室
- (イ) 議題<審議事項> ①2022年度 事業報告書(案)及び決算書(案)について  
②2023年度 役員体制(案)について  
③2023年度事業計画書(案)及び事業予算(案)について  
④役員報酬の支払額(案)について  
⑤常勤職員の夏季賞与(案)について  
⑥基金の積立額の変更(案)について  
⑦会計規程等の改正(案)について  
⑧岡崎市南公園整備事業への参加について

##### イ 第2回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2023年8月29日(火) 10:30~11:15  
岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 302会議室
- (イ) 議題<報告事項> ①事業進捗報告(2023年4~6月及び南公園整備事業PFIプロポーザルの進捗状況)  
<審議事項> ①拠点運営パートタイム労働者の賃金改定(案)について

##### ウ 第3回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2021年11月28日(火) 10:30~11:30  
岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 302会議室
- (イ) 議題<報告事項> ①事業進捗報告(2023年7~9月分)について  
②2023年度上半期決算(4~9月期)について  
③公印規程の制定について

- ④南公園整備事業 PFI プロポーザルについて  
＜審議事項＞ ①常勤職員の冬季賞与（案）について

## エ 第4回理事会

- (ア) 開催日時及び場所 2024年2月27日(火) 10:30～12:00  
岡崎市図書館交流プラザ・りぶら 302会議室
- (イ) 議題＜報告事項＞ ①事業進捗報告(10～12月分)について  
＜審議事項＞ ①職員の昇給(案)について  
②パートタイム労働者の賃金改定(案)について  
③2024年度4～6月 暫定活動予算書(案)について  
④パートタイム労働者就業規則の改正(案)について  
⑤2024年度における事業計画及び新規事業(案)について  
⑥能登半島地震への災害義援金等(案)について

## (3)その他

### ア 第1回事業提案コンテスト

- (ア) 開催日時及び場所  
各部門発表会（職員内部）  
①フラッシュアイデア部門：2024年1月15日（月） 13:00～16:00  
②事業提案部門： 2024年2月9日（金） 13:30～17:00  
いずれも会場は、東部地域交流センター・むらさきかん 第6活動室
- (イ) 概要
- ・受託事業の実施の枠にとらわれず、りた内外の潜在的な資源を活用し、りたの強みを活かした事業開発や地域ニーズへの対応充実を図るため、りた職員からの提案を募集する「事業提案コンテスト」を開催した（継続開催を予定）。
  - ・『事業提案部門』と『フラッシュアイデア部門』の2部門を設け、「地域の課題解決」「地域の魅力向上」のための事業や「りたの業務改善や会員拡大、コミュニティ醸成等に資する提案、もしくはアイデア」を募集した。
  - ・りた職員有志17名から「事業提案部門」15件・「フラッシュアイデア部門」20件の応募があり、多くの職員が地域の課題解決・魅力向上やりたの業務改善に対する高い意欲や多様なアイデアを持っていることが顕在化した。
  - ・また、こうした試みが職員間での意見交換・共同企画を促し、業務に対するモチベーションアップにもつながった。
  - ・提案された事業・アイディアは、採択（詳細は継続して検討）／見送りを仕分け、採択されたものについては順次実現を図っていく（特別に予算措置が必要なものは理事会等での審議を経て実施）。

#### **イ 南公園整備事業について**

- ・岡崎市が PFI 方式で行う「南公園整備事業」に、長年協働実績がある事業者よりお声かけいただき、コンソーシアムの協力企業として参画し、事業提案に尽力したが、積算予算が市の設定金額と大きく乖離したため、コンソーシアム構成員・協力企業内の協議により辞退した。

**活動計算書**  
令和5年 4月 1日 ~ 令和6年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	金 額			備 考
<b>I 経常収益</b>				
1. 受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費	201,000 69,000	270,000		13団体、個人17名 5団体、個人3名
2. 受取寄附金 受取寄附金	1,431,471	1,431,471		日本NPOセンター ソフト導入支援
3. 受取助成金等 受取助成金	0	0		
4. 事業収益 1) まち育て推進事業収益 学習機会事業 調査研究事業 対話協働事業	3,993,000 4,130,000 13,327,050			カーポンニュートラル人材育成業務 地域包括ケアシステム支援・事業企画開発 QUARUWAソーシャル運営・千山NPO設立支援・公園愛護運営会設立支援 瑞穂公園WS運営支援・三郷駅前アート・公園マジネット会議運営補助
2) 市民活動支援事業収益 相談助言事業 拠点運営事業	9,642,294 168,802,877			りぶら市民活動センター運営 岡崎市地域交流センター(東・西・南・北・六ツ美分館)指定管理
3) その他事業収益 情報発信事業 専門家派遣事業	0 1,849,946	201,745,167		地区別計画策定支援・岡崎市職員研修 他
5. その他収益 受取利息 雑収益	747 776,534	777,281		岡崎信用金庫 普通預金 利息 駐車場料従業員負担分・ポイント
<b>経常収益計</b>		204,223,919		
<b>II 経常費用</b>				
1. 事業費 (1) 人件費 給料手当 法定福利費	92,999,772 8,450,028			
人件費計	101,449,800			
(2) その他経費 仕入 外注費 旅費交通費 通信費 消耗品費 接待交際費 会議費 賃借料 支払手数料 保険料 新聞図書費 修繕費 租税公課 研修費 広告宣伝費 器具備品費 雑費	225,764 43,898,954 915,242 403,964 5,024,163 36,612 35,718 1,741,980 439,472 157,014 652,110 22,236 12,295,900 15,000 299,418 235,100 189,292			
その他経費計	66,587,939	168,037,739		
<b>事業費計</b>		168,037,739		
2. 管理費 (1) 人件費 役員報酬 給料手当 法定福利費 福利厚生費	3,960,000 7,898,238 852,850 2,460,525			
人件費計	15,171,613			
(2) その他経費 外注費 旅費交通費 通信費 消耗品費 水道光熱費 接待交際費 会議費 賃借料 支払手数料 諸会費 保険料 支払報酬 新聞図書費 租税公課 減価償却費 寄付金 研修費 広告宣伝費 費用弁償 雑費	1,409,100 120,660 389,774 2,351,982 157,739 15,158 10,381 2,014,730 237,426 67,600 251,782 1,468,500 36,250 31,913 90,574 300,000 57,200 58,315 175,000 226,668			
その他経費計	9,470,752	24,642,365		
<b>管理費計</b>		24,642,365		
<b>経常費用計</b>		192,680,104		
<b>当期経常増減額</b>		11,543,815		
<b>III 経常外収益</b>		0		
1. 過年度損益修正益		0		
<b>経常外収益計</b>		0		
<b>IV 経常外費用</b>		0		
1. 過年度損益修正損		0		
<b>経常外費用計</b>		0		
税引前当期正味財産増減額 法人税、住民税及び事業税 当期正味財産増減額 前期繰越正味財産額 次期繰越正味財産額	11,543,815 2,355,300 9,188,515 53,538,041 62,726,556			

## 計算書類の注記

### 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。(取得価額が30万円未満である減価償却資産は、一定の要件のもとに一部損金処理しています。)

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

### 2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	学習機会事業	調査研究事業	対話協働事業	相談助言事業	拠点運営事業	情報発信事業	専門家派遣事業	事業部門計	管理部門	合 計
<b>I 経常収益</b>										
1. 受取会費								0	270,000	<b>270,000</b>
2. 受取寄附金								0	1,431,471	<b>1,431,471</b>
3. 受取助成金等								0	0	<b>0</b>
4. 事業収益	3,993,000	4,130,000	13,327,050	9,642,294	168,802,877		0	1,849,946	<b>201,745,167</b>	<b>201,745,167</b>
5. その他収益								0	777,281	<b>777,281</b>
6. 事業費振替収入								0	22,163,613	<b>22,163,613</b>
7. 管理費振替支出	△ 507,127	△ 586,303	△ 1,723,510	△ 1,778,135	△ 17,390,500			△ 178,038	△ 22,163,613	△ 22,163,613
<b>経常収益計</b>	<b>3,485,873</b>	<b>3,543,697</b>	<b>11,603,540</b>	<b>7,864,159</b>	<b>151,412,377</b>		<b>0</b>	<b>1,671,908</b>	<b>179,581,554</b>	<b>24,642,365</b>
<b>II 経常費用</b>										
<b>(1) 人件費</b>										
役員報酬								0	3,960,000	<b>3,960,000</b>
給料手当	917,639	2,979,121	3,252,201	6,183,996	78,796,759		870,056	<b>92,999,772</b>	7,898,238	<b>100,898,010</b>
法定福利費	139,262	431,206	305,754	489,716	6,947,124		136,966	<b>8,450,028</b>	852,850	<b>9,302,878</b>
福利厚生費								0	2,460,525	<b>2,460,525</b>
<b>人件費計</b>	<b>1,056,901</b>	<b>3,410,327</b>	<b>3,557,955</b>	<b>6,673,712</b>	<b>85,743,883</b>		<b>0</b>	<b>1,007,022</b>	<b>101,449,800</b>	<b>15,171,613</b>
<b>(2) その他経費</b>										
仕入					225,764			<b>225,764</b>		<b>225,764</b>
外注費	1,650,000	2,187,140	4,192,257		35,616,557		253,000	<b>43,898,954</b>	1,409,100	<b>45,308,054</b>
旅費交通費	30,660	39,030	247,938	25,130	557,294		15,190	<b>915,242</b>	120,660	<b>1,035,902</b>
通信費					403,964			<b>403,964</b>	389,774	<b>793,738</b>
消耗品費	36,356		2,688	82,410	4,900,659		2,050	<b>5,024,163</b>	2,351,982	<b>7,376,145</b>
水道光熱費								0	157,739	<b>157,739</b>
接待交際費			8,704		24,008		3,900	<b>36,612</b>	15,158	<b>51,770</b>
会議費					34,588			<b>35,718</b>	10,381	<b>46,099</b>
賃借料	1,420			154,400	1,586,160			<b>1,741,980</b>	2,014,730	<b>3,756,710</b>
支払手数料			2,420	15,092	421,960			<b>439,472</b>	237,426	<b>676,898</b>
諸会費								0	67,600	<b>67,600</b>
保険料					157,014			<b>157,014</b>	251,782	<b>408,796</b>
支払報酬								0	1,468,500	<b>1,468,500</b>
新聞図書費					652,110			<b>652,110</b>	36,250	<b>688,360</b>
修繕費					22,236			<b>22,236</b>		<b>22,236</b>
租税公課	194,878		761,212	773,952	10,430,848		135,010	<b>12,295,900</b>	31,913	<b>12,327,813</b>
減価償却費								0	90,574	<b>90,574</b>
寄付金								0	300,000	<b>300,000</b>
研修費								<b>15,000</b>	57,200	<b>72,200</b>
広告宣伝費		15,000						<b>299,418</b>	58,315	<b>357,733</b>
器具備品費					299,418			<b>235,100</b>		<b>235,100</b>
費用弁償					235,100			0	175,000	<b>175,000</b>
雑費			8,019		181,273			<b>189,292</b>	226,668	<b>415,960</b>
<b>その他の経費計</b>	<b>1,913,314</b>	<b>2,242,300</b>	<b>5,215,219</b>	<b>1,059,003</b>	<b>55,748,953</b>		<b>0</b>	<b>409,150</b>	<b>66,587,939</b>	<b>9,470,752</b>
<b>経常費用計</b>	<b>2,970,215</b>	<b>5,652,627</b>	<b>8,773,174</b>	<b>7,732,715</b>	<b>141,492,836</b>		<b>0</b>	<b>1,416,172</b>	<b>168,037,739</b>	<b>24,642,365</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>515,658</b>	△ 2,108,930	<b>2,830,366</b>	<b>131,444</b>	<b>9,919,541</b>		<b>0</b>	<b>255,736</b>	<b>11,543,815</b>	<b>0</b>
										<b>11,543,815</b>

3. 活動原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

## 2023年度 ボランティア利益換算

算定方法:単価は愛知県の当該年度最低賃金¥1027

区分	事業名	ボランティア		利益換算 (小計)
		延べ人数	延べ時間	
北部	市民活動サポート研修	0	0.0	0
	地域協働交流会～くらしまもる逃げ遅れゼロへ～	0	0.0	0
	なごみん横丁	135	675.0	693,225
	壱学校×地域 協働創出事業つながるプロジェクト	0	0.0	0
	ふれあいひろば	490	245.0	251,615
	情報誌「まちのワ！」発行事業	14	14.0	14,378
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
小計		639	934.0	959,218
南部	市民活動サポート研修	8	28.0	28,756
	地域とつながる協働交流会	4	12.0	12,324
	町内会サミット	10	24.0	24,648
	ふれあいひろば	1,240	760.0	780,520
	運営懇談会	6	6.0	6,162
	情報誌「まちのワ！」発行事業	0	0.0	0
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
小計		1,268	830.0	852,410
西部	市民活動サポート研修	0	0.0	0
	防災交流会	14	41.0	42,107
	地域の子育て交流会	4	12.0	12,324
	花のとう支援事業	82	77.5	79,593
	ふれあいひろば	754	413.0	424,151
	情報誌「まちのワ！」発行事業	0	0.0	0
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
小計		854	543.5	558,175
東部	市民活動サポート研修	0	0.0	0
	活躍人!交流会	4	8.0	8,216
	むらさき麦まつり連携事業「市民活動博覧会」	50	42.5	43,648
	ふれあいひろば	639	639.0	656,253
	情報誌「まちのワ！」発行事業	0	0.0	0
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
	小計	693	689.5	708,117
六ツ美	市民活動サポート研修	0	0.0	0
	ゆきファミリーパーク	42	84.0	86,268
	むつみ地域交流会	4	8.0	8,216
	ふれあいひろば	687	375.0	385,125
	情報誌「まちのワ！」発行事業	0	0.0	0
	市民活動団体情報発信事業	0	0.0	0
	小計	733	467.0	479,609
市活	まちびとバンクシステム	2	26.0	26,702
	情報発信事業	0	0.0	0
				0
	小計	2	26.0	26,702
まちT	公園愛護運営会設立支援	0	0.0	0
	地域包括ケア支援	0	0.0	0
	瑞穂PFI	0	0.0	0
	三郷駅前まち育て	0	0.0	0
	モリコロ	0	0.0	0
	QURUWAシンポジウム運営業務	0	0.0	0
	カーボンニュートラル人材育成業務	4	16.0	16,432
	下山学区農村RMO形成推進業務	0	0.0	0
				0
	小計	4	16.0	16,432
合計		4,193	3,506.0	3,600,662

※2019年度より「ボランティアコスト換算」から「ボランティア利益換算」に名称変更

※2022年度より「運営ボランティア」の呼称を「ボランティア」に変更

※2022年度より日常業務に関わるボランティアは、施設ボランティアとして「ふれあいひろば」に含む

4. 使途等が制約された寄付金等の内訳

使途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は62,726,556円ですが、そのうち2,000,092円は、下記のように使途が特定されています。したがって使途が制約されていない正味財産は60,726,464円です。

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
基金事業	2,000,076	16	0	2,000,092	事業のための基金
合 計	<b>2,000,076</b>	<b>16</b>	<b>0</b>	<b>2,000,092</b>	

5. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬具	1,067,643	0	0	<b>1,067,643</b>	△ 1,067,642	1
什器備品	917,220	0	0	<b>917,220</b>	△ 795,712	<b>121,508</b>
合 計	<b>1,984,863</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,984,863</b>	△ 1,863,354	<b>121,509</b>

6. 事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給与・賞与及び法定福利費については従事割合に基づき按分しています。

# 貸借対照表

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた

単位:円

科目・摘要	金額	
<b>I 資産の部</b>		
<b>1 流動資産</b>		
現金預金	72,530,910	
事業基金用預金	2,000,092	
商品	99,329	
未収金	10,443,935	
前払金	260,606	
<b>流動資産合計</b>		85,334,872
<b>2 固定資産</b>		
車両運搬具	1	
什器備品	121,508	
長期前払金	8,400	
保証金	361,750	
<b>固定資産合計</b>		491,659
<b>資産合計</b>		85,826,531
<b>II 負債の部</b>		
<b>1 流動負債</b>		
未払金	17,168,951	
預り金	615,624	
未払消費税	2,960,100	
未払法人税等	2,355,300	
<b>流動負債合計</b>		23,099,975
<b>負債合計</b>		23,099,975
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産	53,538,041	
当期正味財産増減額	9,188,515	
<b>正味財産合計</b>		62,726,556
<b>負債及び正味財産合計</b>		85,826,531

注1) 固定資産に関する減価償却計算の方法は、以下のとおり

1. 建物定額法
2. 建物附属設備定額法
3. 車両運搬具定率法
4. 什器備品定率法

# 財産目録

令和6年3月31日現在

特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りたり

単位:円

科目・摘要	金額
<b>I資産の部</b>	
<b>1流動資産</b>	
現金預金	
現金 現金手許有高	428,997
普通預金 岡崎信用金庫本店	71,841,181
普通預金 岡崎信用金庫岩津支店	20,560
普通預金 岡崎信用金庫上地支店	10,638
普通預金 岡崎信用金庫矢作支店	20,040
普通預金 岡崎信用金庫美合支店	18,430
普通預金 岡崎信用金庫中島支店	19,560
普通預金 東海労働金庫岡崎支店	150,444
普通貯金 あいち三河農業協同組合竜城支店	21,060
普通預金 岡崎信用金庫本店（事業基金用）	2,000,092
商品	
コピー用紙・パウチフィルム・水切りネット	99,329
未収金	
カードボン・ニュートラル人材育成業務	3,993,000
公園愛護運営会設立支援業務	2,695,000
地域包括ケアシステム支援業務	1,378,000
地区別計画(宮崎学区)策定支援業務	876,700
三郷駅前周辺まちづくりデザイン検討支援業務	655,050
公園マネジメント会議運営補助業務	623,700
行政専門家派遣2件	27,720
雇用保険料等従業員負担金	113,784
各センター・カフェ売上、物品販売、作業室、コピー機使用料	53,190
自動販売機手数料収入	27,791
前払金	
事務局家賃 令和6年4月分	100,000
常締車両任意保険、メンテナンスパック 令和6年4月以降分	53,485
駐車場地代 令和6年4月分	54,500
法務顧問・顧問料 令和6年4月分	27,700
電子証明書手数料 令和6年4月以降分	6,534
普通傷害・NPO賠償保険料 令和6年4月以降分	7,137
レンタルコンテナ 令和6年4月分	11,250
<b>流動資産合計</b>	<b>85,334,872</b>
<b>2固定資産</b>	
車両運搬具	
常締用軽車両1台	1
什器備品	
事務局パソコン1台	1
事務局ファイヤーウォール	28,710
事務局オンラインセキュリティ機器	92,797
長期前払金	
常締用車両リサイクル預託金	8,400
保証金	
事務局	300,000
駐車場	61,750
<b>固定資産合計</b>	<b>491,659</b>
<b>資産合計</b>	<b>85,826,531</b>
<b>II負債の部</b>	
<b>1流動負債</b>	
未払金	
職員3月分給与	8,212,072
設備管理・事業業務委託料	3,346,723
各受託事業チラシ・パンフレット等製作費、委託外注費	3,333,520
備品・事務用品購入、備品リース料、印刷代	883,590
法人負担2,3月分社会保険料	1,161,122
書類郵送代	114
電話料金3月分	57,851
出張・会議交通費等未精算分	131,971
税理士報酬3月分	27,500
電気代3月分	14,488
預り金	
住民税	164,700
社会保険	568,384
源泉所得税	-149,427
令和5年度修繕費返納金	31,967
未払消費税	
第18期分消費税 確定申告分	2,960,100
未払法人税等	
第18期分法人税・地方法人税	1,500,200
第18期分法人県民税・法人事業税	723,500
第18期分法人市民税	131,600
<b>流動負債合計</b>	<b>23,099,975</b>
<b>負債合計</b>	<b>23,099,975</b>
<b>正味財産</b>	<b>62,726,556</b>